

キューブリックの映像がとらえた  
20世紀最大のモダン・ホラー最高傑作!



THE  
SHiNiNG

# シャイニング

スタンリー・キューブリック作品/主演 ジャック・ニコルソン/シェリー・デュバル "THE SHINING" スキャットマン・クロウザース/ダニー・ロイド  
原作 スチーブン・キング/脚本 スタンリー・キューブリック & ダイアン・ジョンソン/製作・監督 スタンリー・キューブリック/共演 ヤン・ハーラン/製作総指揮  
ワーナー・ブラザース映画配給 From Warner Bros. A Warner Communications Company. © Warner Bros. Inc. 1980 All Rights Reserved



全米をおし流した恐怖の潮流！ついに日本上陸！

# シャイニング

■淀川長治さん(スクリーンより)

こわい映画は前もって話してしま  
ってはいけない。しかしこのホテル  
が一瞬60年くらい前に幻覚的に戻っ  
たり、坊やが小さな子供用のレース・  
カーのような車に乗ってホテルの廊  
下をどンドン走る。カメラがそれ  
を追う。子供のうしろ姿。走る。子供  
のうしろ姿。走る。子供のうしろ姿。  
廊下はつきあたりから直角に曲る。子  
供の車も曲る。カメラも曲る。まだ  
まだ車は走る。ホテルの赤いじゅうた  
んの廊下は限りなく長い。これが理  
由もなく恐怖を盛り上げてゆく。

この主人が次第に狂気になりたて  
られ、はてはオノを手に妻を殺そうと  
する。妻は扉に鍵をかけてくれる。  
夫は扉をオノで叩きこわそうとする。  
オノが扉にくいこんで扉をこわし始め  
る。このシーンのところで映画観客の  
中から悲鳴があがった。キャーッと叫  
んだが誰もそれを笑うよゆうがない  
ほど場内は恐怖にとらわれていた。

■今野雄二さん(シティロードより)

“All・Work・And・No・Play・Makes・  
Jack・A・Dull・Boy” (勉強ばかりさせ  
て遊ばせないと子供はばかになる) 中  
学校の英語の教科書にも必ず出てくる  
この有名な諺が、これほど恐い意味を  
持ち得ることを誰かが想像できたであ  
らう。スティーヴン・キングの原作を一  
読して次なる作品の素材はこれだ、と決  
断を下したスタンリー・キューブリッ  
クの頭の中ではその瞬間この単純な  
一句が稲妻の如くにひらめき、雷鳴  
の如くに鳴り響いていたに違いない。

売れない作家である夫ジャックが  
日夜叩き続けるタイプライターを、あ  
るときふとのぞき込んだ妻ウィンディ  
の目に突然の如く飛び込んできたの  
は、その陳腐な諺でいっぱいになった  
タイプ用紙であった。しかも、脇に積  
まれた数十枚の原稿の山もすべて同  
じ諺のみで埋められていたのである！

「シャイニング」のもっとも怖い  
シーンはこのタイプライターによっ  
て主人公ジャックの狂気がもはや確  
固たるものであることが観客に伝わ  
るさり気ない瞬間である。

《2001…》が宇宙映画に占める位置を  
《シャイニング》は恐怖映画に占めた！

■ニューズウィーク誌(ジャック・クロール評)

キューブリックは《シャイニング》で《2001年  
宇宙の旅》が他の宇宙映画に占める位置と同様の  
位置を恐怖映画において占めた。

《2001…》で宇宙飛行士は別の生き物になったが、  
《シャイニング》でニコルソンは別の人間になる。

ニコルソンの役は元教師で現在は売れない作家ジャ  
ック・トランス。妻のウェンディ(シェリー・デュバル  
ル)と7才になる息子ダニー(ダニー・ロイド)を連れ  
て雪に閉ざされた由緒あるホテルに冬の間、管理人  
として雇われる。ホテルのマネージャー、ウルマン(バ  
リー・ネルソン)は前の管理人一家の事件を彼に聞  
かせる。2人の小さな娘を斧で惨殺し、妻を射殺し、  
自分はショットガンで頭を吹き飛ばして自殺した。お  
そらく孤立と孤独から気がふれたのだと思う…と。

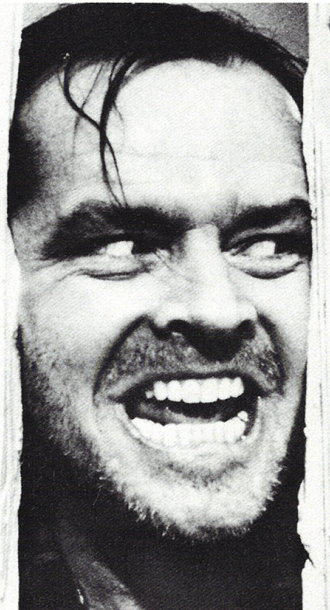
その時、自分にはそんな心配は無用だと笑うニ  
コルソンの顔と、後にホテルに棲みすく悪霊にとり  
つかれたニコルソンの顔との変貌ぶりは、今でも  
私に寒気を感じさせる。

これは恐怖と共に知性を感じさせる映画である。  
タイトルの《シャイニング》とはダニー少年の持  
つ超能力のことである。

キューブリックのカメラはそれ自体悪霊のように、  
三輪車で廊下を走るダニー少年や、夫から逃げるウ  
ェンディを追って行く。パニックや恐怖がこのよう  
な奇妙なリズムで振り付けされたことはない。不協和  
音のむせぶようなサウンドトラックは魅惑的であり、  
同時に恐怖を呼び起こす素晴らしさをもっている。

ジャック・ニコルソンは本誌の記者のインタビ  
ューに応じてキューブリックの仕事ぶりを次のよう  
に語った。

“彼は一つのシーンを50回は演らせます。部屋を  
歩くにしても、朝食をオーダーするにしても様々  
な仕方があります。スタンリーのアプローチの仕  
方はどうすれば今までより良くなるかということ  
なのです。それができなければその俳優は彼にと  
って、不必要な俳優にすぎないのです”。



12月13日(土)正月第1弾ロードショー

新宿ピカデリー (352) 1771

●紀伊国屋ビルうら

\*特別鑑賞券¥1200(当日一般¥1500の処)学生¥1300の処)発売中!

日・祝 ½~¾	9:15	11:30	2:00	4:30	7:00
平日・元旦		11:30	2:00	4:30	7:00